

米国の継承日本語教育学校紹介

連絡先		
学校名（またはプログラム名）ウェブサイト	学校所在地（例 カリフォルニア州ロサンゼルス）	連絡担当者のお名前とメールアドレス
ブルックリン日本語学園 http://bjafa.org/nihongogakuen/	ニューヨーク州ブルックリン	中野友子 tomoko.nakano@bjafa.org

学校について	
学校（あるいはプログラム）の設立の年と設立の背景	<p>ニューヨークブルックリン地区において日系の永住、長期滞在の日系人家族が急増し、2006年ころから特に小さい子供を持つ家族が集まったの日本語でのプレイグループの中から、将来子供達が継承語としての日本を学べる学校設立の機運が高まっていった。2006年6家族8人で始まったグループがインターネット MIXI というというサイトを通して始めた「ブルックリンで子育て」で集まったコミュニティーグループが、2010年11月からニューヨーク公立学校 PS261 の施設を利用して PreK, K-1, 2年生の3つのクラス児童数23名でのテストランを経たのちに2011 BJafa(Brooklyn Japanese Family Association)となり NPO ブルックリン日本語学園が設立された。2016年、9月現在、児童生徒数は Pre-K、初等部 K-5、中等部 6-8 で132名。</p>
教育目的とゴール	<ul style="list-style-type: none"> 日本語や日本の文化を自分自身のポジティブなアイデンティティとして身につける 生涯にわたり日本語を学び続けたいという気持ち、日本文化への興味を育てる 多文化、多言語の環境の中で広い視野に立った柔軟な考え方ができるようになる ブルックリンの日系コミュニティーの一員であることに誇りを持ち、自ら継承者となる
学校運営資金、資金の支援組織・団体（もしあれば）	学費、日本政府、海外子女教育振興財団、Japan Foundation LA、NY 日本人医師会、
学校の組織（例 理事会、父母の会、教師会など）	理事会、PTA
学校施設（例 公立の高校の施設を有料で借りている、コミュニティーセン	PS 2 6 1（公立小学校の教室を使用）有料

ターを無料で使用)	
-----------	--

家庭数
1 0 3

子どもの言語背景			
日本語だけを話す	日本語と英語（または他の言語）を話す、日本語の方が多し:	日本語と英語（または他の言語）を話す、英語（または他の言語）の方が多し	英語（または他の言語）だけを話す。(家庭では日本語は使われていない)
約 0 %	約 26 %	約 70 %	約 4 %

授業数		
授業のある曜日	授業時間（一日の総時間）	授業のコマ数 (例 1 時間目 : 8:45-9:30)
土曜日	開園日 : 土曜日 9月始まり～6月 終了 : 1学期 13日 2学期 11日 3学期 11日 計35日 通常授業 9:20～12:20 (3時間) 22回 延長授業 9:20～2:00 (4時間40分) 12回 運動会 1回	*指導案の例を参照

授業内容について特記することがある場合、ここにご記入ください。

児童が週日通う、ニューヨークのカリキュラムとリンクするようなテーマベース（統合カリキュラム）カリキュラムを学園独自に作成しています。その中に、日本語の話す、聞く、読む、書くを文科省指導要領の要素を学年の発達を追いながら取り入れています。学年はプリK以外は2学年のマルチエイジのクラスとなっており、授業の中で年長者、年少者の教えあい、学び合う交流、話し合いを多く起こす、又、ハンズオン、五感を通じた実験、実習を多く取り入れて児童生徒が主体的に学べるように配慮しています。そのほかの特徴としては、児童生徒が自ら学んだことを発信できるように、一学期 学習発表会（劇）二学期 児童主導型面談、三学期 お店やさん活動、プレゼンテーションという大きな行事を柱にしています。

宿題はオープンエンドで、家庭で保護者と日本語で交流しながら一緒に取り組めるように、また、それを授業の中に一人一人が発表する機会を設けています。漢字は、成り立ちから学び、

子供達の「わかる」を育て、将来にわたって自らが日本語で学習する楽しさ、意欲につなげる。

指導事例*

2016年11月5日		テーマ	「スーホの白い馬」	第2回
------------	--	-----	-----------	-----

担当教師	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	アシスタント	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
------	--------------------	--------	--------------------

<p>● 授業のねらい</p> <p>前回読み取った主人公と白馬の心の動き／結びつきをふまえ、白馬を取り上げようとする殿様の人柄と、取り上げられるスーホの気持ちを読み取る</p> <p>各場面の様子や登場人物の性格や気持ちを理解した上で、情感を込めて台詞の部分を読む</p>	<p>● 言語領域のねらい</p> <p>話す</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場面の様子や登場人物の考えていることを想像し、それを自分の言葉で表現する ●登場人物の様子や心情を考えながら、気持ちを込めてその人物のセリフを言う <p>聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●挿絵やビジュアルエイドの助けを得ながら、先生の読み聞かせを聞く ●先生の説明や、友だちの意見・感想を聞く ●劇中歌を聴き、どんな様子が歌われているのかを掴む <p>読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ●登場人物になったつもりで、感情を込めて本文の中の台詞の部分を読む ●重要な語彙や質問の答えとなる箇所を本文から探す ●今まで習った漢字を読む ●新しく出てきた感じの部首や部分に着目し、そこから意味を想像して読む <p>書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本文から読み取ったことや、想像したことを文章にまとめて書く ●登場人物の気持ちを想像し、それを登場人物の言葉で書く ●画べえさんを使って、正しい筆順で漢字「町」「知らせ」「引く」を書く ●自分の白馬の背に名前（習った漢字）を書く
<p>● 単元の目標</p> <p>場面の様子や人物の気持ちについて、想像を広げながら読むことを学び、物語を読むことの楽しさを知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●場面の様子や登場人物の心情（スーホと白馬の心の結びつき、白馬を取り上げられたスーホの悔しさや悲しみ、スーホのことを思う白馬の気持ち）を文章から読み取ったり、自分で想像したりしながら理解できる ●強く心に残った場面や、自分の感想を、他の人に伝えることができる（口頭発表と文章で） ●場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら、気持ちを込めて音読できる 	

配布物

宿題フォルダ	今週の宿題、音読シート
授業中に配布	漢字シート、漢字カード（教師用）、本文・ワークシー、トコトコ馬台紙

連絡帳記載事項

今回の持ち物	単元教材、漢字帳、筆記用具／色鉛筆、おやつ、水筒、お弁当
次回のお知らせ	延長授業、舞台練習

	活 動	言語領域	教具／準備
	教師の指導	話す・聞く・読む・書く	
9:15	登校・挨拶・準備 ・登校時のルーティーン の指導（持ち物を所定の場所に置く ・自分の名前が貼ってある席に着席 朝の活動（各クラス準備） 教材図書貸し出し	教師や友だちに元気にあいさつをする 教師の指示を聞く 友だちや先生と日本語で話し合う 友だちの意見を聞く 貸出管理表に友だちの名前を記入する	机の配置、ネームプレート 教材図書貸出管理表
9:25	朝の会（10分） ・今週の係の発表 ・号令、出欠 ・日付け、天気 ♪日の歌（ついたちふつか〜） ♪曜日の歌（日月火水木〜） ・今日の予定の説明	教師や日直の指示を聞く 号令に合わせて元気に挨拶をする 自分の名前を呼ばれたら元気に返事する 日付け・曜日の歌	座り方ビジュアルエイド カレンダー クラスルール表 予定表（各クラス）
9:35	漢字 復習：「白馬」「広い」「草原」「頭」「少年」「羊」「牛」 新漢字：「町」「知らせ」「引く」	既習の漢字と結びつけたり、部首やパーツに着目して意味を類推する 似ている形に注意して、漢字を正しく読む 画べえさんを使って正しい書き順で漢字を書く	復習用漢字カードなど 漢字スライド／シート（倫恵）

<p>10:00</p>	<p>「スーホの白い馬」第二回（前半） 前回の復習 —物語の舞台、スーホの人柄、スーホと白馬との出会い、なぜ白馬は必死に羊を守ったのか、また羊を守ってくれた白馬に対するスーホの気持ち、スーホと白馬の心の絆について振り返る。 <u>やり方（例）</u> ●お話しレーのように、続きを一人ずつ話していく。物語の続きを覚えていない箇所は、本文を見て探す/教師が質問して誘導 ●グループ別に前回の物語に関する三択クイズを作り、他のグループにクイズを出す ●スーホの日々の暮らしぶり、スーホが白馬にどのようなお世話をしてあげたかなど、文章に書いていないことも想像させて児童の意見を引き出す 漢字読み方確認（適宜移動させてください） 「月日」「年」「知らせ」「町」「広々」「けい馬」「一等」「大会」「先頭」 ●漢字のパーツからどんな意味か想像させる ●読みと意味の確認 本文 p.11 ●スーホが競馬に出かけるまでの場面の読み聞かせ（絵本の挿絵やビジュアルエイドを見せながら、内容を視覚的に理解できるよう工夫） ●質問、話し合いのポイント（ワークシート回答を参照のこと） ○時間の経過—スーホと白馬はどうなっているか ○なぜ友だちはスーホに競馬に出ることをすすめたのか ○なぜスーホは競馬に出かけていったのか</p>	<p>教師の指示、質問を聞く。 自分の言葉で物語の再話をする。 グループの友だちと話し合う 友だちの話聞く 教師の読み聞かせを聞く 教師の質問を聞く 質問の答えを探しながら文章を読む 登場人物の気持ちや行動を想像して話し合う 言葉の意味を自分の言葉で説明する</p>	<p>お話バトン （各クラス/自由） クイズを書く 用紙（各クラス/自由） 本文/ワークシート ビジュアルエイド、絵本など</p>
<p>10:25</p>	<p>トイレ/おやつ 宿題発表</p>	<p>教師や日直の指示を聞く 「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつをする 発表前に自分の名前を言い、挨拶</p>	

	「あなたがスーホだったら、白馬とどんなことをしますか」	<p>をする 聞いている人に分かりやすく、書いてきたことを読む 友だちの発表を聞く 友だちの発表に対して、質問したり、感想を述べたりする 教師や友だちの自己紹介を聞く</p>	
10:45	<p>「スーホの白い馬」第二回（前半） 本文/ワークシート —質問を前もって提示し、それを探すと目的を持って読ませる。 —教師が場面ごとに本文を一度読み聞かせ（イメージが伝わるよう工夫）、言葉の意味を確認、視覚資料（競馬の映像など）を見たあと、教師のあとに続いて山びこ読み／一人ずつ〇読み —児童の発言をホワイトボードに書き留め（書ける児童に代表で書いてもらってもよい）、共通理解を得てからワークシートに書く。 —L1/2 児童は、口頭で話してもらったことをポストイットに書きとめ、それを書き写させる</p> <p>ワークシート p.20~21 ●とのさまはスーホを見てどんなことを考えたのだろう。 -とのさまの様子や言ったことに着目（ワークシート赤線） -とのさまの心の中を想像してみよう（ワークシート） -発表する→児童の意見を書き留める →ワークシートに書く</p> <p>本文 p.14、ワークシート p.15 ●とのさまのスーホに対する態度と、スーホの気持ちを読み取る。 -スーホはなぜかっとなったのか。スーホは白馬のことをどのように思っていたか。それが分かる言葉や文章は、ここではどの部分か。 -とのさまの性格や様子がわかる言葉や表現に着目（ワークシート赤線） ●ペアになって、スーホととのさまに分かれ、二人のやり取りの台詞を読む。</p>	<p>教師の質問を聞く</p> <p>質問の答えを探しながら、教師の読み聞かせを聞く</p> <p>質問の答えを考えながら文章を読む。</p> <p>文章の中から、大切な情報や語彙を探し、線を引く</p> <p>線を引いた箇所（質問の答え）を声に出して読む</p> <p>文章を読んで気づいたことや、自分の考えを話す</p> <p>登場人物の気持ちがわかる言葉や、自分の考えを書き出す</p> <p>言葉の意味を自分の言葉で説明する</p> <p>登場人物の気持ちや性格を想像し、感情を込めて台詞を読む</p>	<p>本文／ワークシート</p> <p>スーホ、白馬、ペープサート/ホワイトボードに貼る視覚資料など（各クラス）</p>

	<p>(ペープサートなどを持ってやるとよい)</p> <p>本文 p.16、ワークシート p.17</p> <ul style="list-style-type: none"> ●白馬をとられたスーホの気持ちをスーホの言葉で書く <p>宿題説明 白馬の気持ちを考えて、白馬のことでかいてみましょう</p>	<p>宿題説明を聞いて何をするのか理解する</p>	<p>宿題説明と用紙（由理）</p> <p>音読シート（綾子）</p>
11:45	<p>工作「とことこ馬」 http://asomanaotosan.blog3.fc2.com/blog-entry-1533.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ●線にそって切り込みを入れる。 ●馬の顔を描く ●馬に名前をつける-馬の背の部分に前回と今回習った漢字を描く（漢字の一覧を見せ、正しく読めた児童がその漢字をピックアップする。全員が違う漢字を選ぶように） ●山折り、谷折りで馬を完成させ、段ボールの上で、自分の競争させる/並べて漢字を読む、など <p>劇中歌「スーホの白い馬」の歌を聞く</p>	<p>教師の説明を聞く</p> <p>これまで習った漢字を読む</p> <p>自分が選んだ漢字を正しい書き順で書く</p>	<p>ビジュアルエイド トコトコ馬台紙（事務所で印刷、切ってもらおう） ハサミ</p> <p>「スーホの白い馬」歌音源</p>
12:10	<p>帰りの会／1日の反省 今日の授業への参加を自己評価し、来週の持ち物と連絡事項を書き取る（連絡帳） できた人から、帰りの準備</p> <p>12:20 解散 一人ずつ名前を呼んで保護者に引き渡す</p>	<p>教師の説明を聞く</p> <p>来週の持ち物と連絡事項を聞きとって、連絡帳に記入する</p> <p>日直の号令を聞いて従う 先生や友だちに挨拶をする</p>	<p>連絡帳</p>

日本語のコースについて		
コースの種類 継承語	レベル	各レベルの学習者数
親子で学ぶ継承語クラス	幼児（プリ K）	3
継承語幼児クラス	プリ K	22
継承語初等部	K-1 マルチエイジ	36
	2-3 マルチエイジ	33
	4-5 マルチエイジ	26

継承後中等部	6	7
	8	1
		計 132 名
		2016.9.1 現在

教師				
教師数	給料が支払われる TA 数	ボランティアの TA 数	教師のバックグラウンド	教師研修の有無 (記入例)
13	10	3	日本の幼稚園免許保持者 2 名、 日本の中・高免許保持者 2 名 ニューヨーク免許 1 名	学校独自のもの：年 4 回 継承語学校対象のもの： 年 1 回 地域の日本語教育一般のもの：年 6 回 NECTJ
教師に関して追加情報がある場合、ここにご記入ください。				

教材（上記各レベルで使用の教材。教科書があればタイトルと出版社名を記入してください。自作教材を使用の場合、内容を説明してください）	
レベル	教材
プリ K	テーマ（たんけんさがしてみよう、げきあそび「おおきなおおきなおいも」、からだ、いきているせいちょう） 絵本 視覚教材、聴覚教材、ハンズオン教材、実験、体験、工作、歌、
K 1	テーマ A: 「1 1 ぴきのねこ」昔話「ももたろう」「とりのくらし」「くじらぐも」 B: 「はなのみち」昔話「おむすびころりん」「おおきなかぶ」「水」「のりものくらべ」 絵本、教科書（光村、教書、東京書籍）
2-3	テーマ A: 「木」「スーホの白い馬」昔話「いろはにほへと」「いのちのふしぎ」日本の文化「春」「お話を作ろう」 B: 「どうぶつーどうぶつの赤ちゃん・どうぶつえんのじゅうい」民話「たぬきの糸車」「季節と気候」民話「三枚のおふだ」「俳句」「サラダでげんき」「たねのはこばれかたーたんぼぼのちえ・すみれとあり」「私のブルックリン」 絵本、教科書（光村、教書、東京書籍）
4-5	テーマ A: 「歴史はおもしろい」「日本神話を劇に」「創作物語を読むー三つのお願い・おにたのぼうし・てぶくろをかいに」「伝え合うとい

	うこと」「詩・俳句」 B:「わすれられないおくりもの」「世界の人のからし」「宮澤賢治の世界」「注文の多い料理店を劇に」「日本の芸能文化-落語」「日本の食文化-すがたをかえる豆」「情報のつたえかた」 絵本、教科書（光村、教書、東京書籍）
6	テーマ A:「日本の歴史-古墳～奈良時代」「狂言～柿山伏」「作文～中心をはっきりさせて書く」「日本文化-まんが」「説明文を読もう～アーチ橋の進歩」「学校案内パンフレット」 絵本、教科書（光村、教書、東京書籍）
8	テーマ A:「日本の歴史-平安～室町」「狂言～柿山伏」「あらしのよるに」「創作物語を書く」「宮澤賢治の世界-イーハトーヴの夢」「説明文を読む-視野を広げる・ちょっと立ち止まって」「クジラたちの声」「説明文を書く-調べたことを正確に伝えよう」 絵本、教科書（光村、教書、東京書籍）
全学年	漢字学習 全学年 成り立ちを通して漢字を学ぶ 101 漢字カルタ、98 部首カルタ、108 形成文字カルタ 漢字成り立ちブック（一年～6年生）

教育機器・テクノロジー（学校で使用している機器やテクノロジーを記入してください）

コンピューター（ワード・PPT）・ビデオ、NHK for School, ipad, プロジェクター、

評価方法（どのように学習者の学習到達度を測っているか）

児童生徒活動記録
コンティニューム、
アセスメント（DRA）
面談（保護者・自動主導型面談）
ポートフォリオ
発表（宿題発表、学習発表会、プレゼンテーション）

現地の学校との連携の有無（例 日本語クレジットテストを実施し、パスすると現地の高校

の外国語のクレジットがもらえる)

無し

日本文化を教えるための行事や活動 (年間を通してどのようなことをしているか)

書き初め・正月行事・節分豆まき・節句 (鯉のぼり作成)
各クラスでは、行事にちなんだ工作、本の読み聞かせなど

その他 (上記項目以外の追加情報があれば記入してください)